

平成26年度 広島市立祇園中学校3年女子 シラバス(年間学習指導計画)

月	週	単元	小単元	時数	主な目標	重要観点	評価方法	指導法の工夫	学習のアドバイス
4	1	体づくり運動	○スポーツの特性 ○体ほぐしの運動 ラジオ体操2・ストレッチ 柔軟体操 ○体力を高める運動 補強運動 ○集団行動 ○新体カテスト	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの楽しさを知る。</li> <li>・準備運動の必要性と方法を学び、ケガ・事故の予防に役立てる。</li> <li>・各部位の運動を理解して正しく身体を動かせる。</li> <li>・仲間と協力し、励まし合いながら、正しい運動ができる。</li> <li>・自己の体力・能力を知り、体力の向上に役立てる</li> <li>・規律を守り集団で行動できる。</li> </ul>	① ② ③ ④		呼吸を合わせたグループ学習	班のみんなで呼吸を合わせてやろう。 ラジオ体操は一つ一つの動きをていねいにやろう。
	2								
	3								
	4								
5	5	球技	○ベースボール型(ソフトボール)  ○ネット型(バレーボール)  ○ネット型(バドミントン)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の軸を意識し、タイミングを合わせて狙った方向へ打つ。</li> <li>・状況に応じた進塁や、守備の連係ができる。</li> <li>・分担した役割を果たし、フェアプレイを守って活動する。</li> <li>・狙った場所へボール・シャトルのコントロールができる。</li> <li>・ネット際の攻防ができる。</li> <li>・ポジションを理解したゲームが展開できる。</li> <li>・ボールを扱わない時に、状況に応じた動きができる。</li> <li>・次の動きを予測して動くことができる。</li> </ul>	① ② ③ ④	前期テスト 実技テスト 提出物(ノート) 発表 授業態度	ホワイトボード・プリントの使用 ティールボールの使用	チームのみんなと共に積極的に活動しよう。 お互いの良さを引き出しながら、三段攻撃を用いたゲームを展開しよう。 味方と戦略を立てて、ゲームを展開しよう。
	6								
6	7	水泳	○背泳ぎ 1 呼吸法 2 背浮きバタ足 3 ストローク	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法を身につけ、安全に留意することができる。</li> <li>・自分の課題を見つけ、意欲的に練習し、工夫することができる。</li> <li>・正確な泳法で泳ぐことができる。</li> <li>・より速く、長く泳ぐための泳法の知識を理解できる。</li> </ul>			ビート板の使用	安全面に気をつけよう。 常にバディシステムをとろう。 呼吸法を身につけ、距離をのぼそう。
	8								
9	9	器械運動	○平均台 1 歩行 2 ポーズ・ターン 3 演技	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題を見つけ、意欲的に練習できる。</li> <li>・仲間と補助の仕方やアドバイスをしながら練習することができる。</li> <li>・自分の力に適した技から、より難しい技に挑戦することができる。</li> <li>・正しい技術を理解し、仲間、自分の安全に留意することができる。</li> </ul>			グループ内補助・助言 スポーツ関連の本の活用	補助とアドバイスができるようになる。 みんなで準備・片づけをしよう。 練習しながらコツを覚えよう。 難しい技にも挑戦してみよう。 自分のバランス感覚を試してみよう。
	10								
	11								
	12								
11	13	ダンス	○現代的なリズムのダンス 1 基本的な姿勢 2 基本的なステップ 3 基本動作 4 グループ創作 5 作品発表会・鑑賞	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と動きで反応しながら、感じ取ることができる。</li> <li>・基本的な動きに工夫を加えながら、発展させることができる。</li> <li>・リズムの特徴をとらえ、身体を動かすことができる。</li> <li>・リズムにあった表現の仕方ができる。</li> </ul>			キーボードの使用	特徴のあるリズムにのってみよう。 基本的な動きを覚えてみよう。 自由な発想で踊ってみよう 仲間と楽しく動いてみよう。 色々なリズムを組み合わせで踊ってみよう。
	14								
	15								
	16								
12	17	1	○ゴール型(サッカー)  ○ゴール型(バスケットボール)  ○ネット型(バドミントン)  ○ネット型(卓球)	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアプレイを大切に、自主的に活動し、戦略を持ってチームで活動できる。</li> <li>・相手や味方の動きに応じた、ボールさばきができる。</li> <li>・次の動きを予測して動くことができる。</li> <li>・狙った場所へボール・シャトルのコントロールができる。</li> <li>・ネット際の攻防ができる。</li> <li>・ポジションを理解したゲームが展開できる。</li> <li>・ボールを扱わない時に、状況に応じた動きができる。</li> <li>・次の動きを予測して動くことができる。</li> <li>・ダブルスのルール動きを理解してゲームができる。</li> </ul>		後期テスト 実技テスト 提出物(ノート) 発表 授業態度	ホワイトボード・プリントの使用	空いたスペースを見つけ、声を出して活動しよう。 たくさんボールに触れよう。 正確なシュートを身につけよう。 空いたスペースを見つけ、声を出して活動しよう。 多くの仲間と対戦しよう。
	18								
	19								
	20								
1	21	2							
	22								
	23								
	24								
2	25	3							
	26								
	27								
	28								
3	29								
	30								
	31								
	32								
3	33								
	34								
	35								
	36								

観点

①運動や健康・安全への関心・意欲・態度  
③運動の技能

②運動や健康・安全についての思考・判断  
④運動や健康・安全に着いての知識・理解

※授業場所や施設の状況等で変更がありますことをご了承ください